

No Limit!!

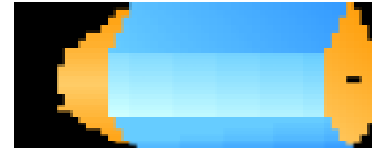
(If you can dream it , you can do it .)

小論文とは？

Q1) なぜ小論文を入試に課す学校があるのですか？

A) 次のような能力や技術が評価されます。

- ・文章構成能力
- ・社会に対する興味・関心の高さ
- ・柔軟な発想力や問題解決能力
- ・論理的思考力や説得力



小論文は事実や客観的なデータを用いて、身の回りや社会についての自分の意見を主張する場なのです。このような表現力は大学・専門学校だけでなく、企業からも求められています。

Q2) 作文と小論文はどう違うのですか。

A) 作文が身の回りの出来事について、感じたことを主観的に述べる文章であるのに対し、小論文は社会で起こる出来事について、客観的に、誰もが納得できるように意見をしっかりと述べる文章のことです。

Q3) 小論文の書き方は？

A) 小論文の出題形式は様々です。あるテーマを与えて小論文を書かせる学校もあれば、課題文を読ませた後その要約文を書かせ、課題文のテーマに沿った小論文を書かせるところもあります。まず課題文やテーマが何を問いかけているのかをよくつかみましょう。ここでは基本的な文章の構成を提示します。



文章の構成 「序論・本論・結論」の構成で書きましょう。

序論ではテーマについて問題提起します。そしてテーマについて自分はどう思うのか、賛成なのか反対なのかをはっきりさせます。序論部分は制限字数の3割程度で書きましょう。

本論で具体例を示します。そのためには、自分が直接見たり聞いたこと、身近な人が話してくれたことなどで共感したことを示します。それ以外ではニュースで最近話題になっていることから探すとよいでしょう。本論は制限字数の5割程度の字数でまとめること。800字以上の制限字数なら段落を2つに分けましょう。

結論でまとめます。再度自分の意見を主張します。今後の前向きな態度（どう改善していくのかなど）を示すとよいです。

Q4) 小論文対策は？

A) 小論文では時事問題がよくテーマとして取り上げられます。よく言われることですが、日頃から新聞を読んでください。社会の様々な問題についての知識や情報は大事です。地球温暖化や自然保護、ゴミ問題や少子高齢化社会など、話題になるものは必ずチェックしてください。また希望する学校の分野によって出題される傾向も変わってきます。例えば、栄養系ならば食育について、医療福祉系であれば高齢化についてなど、出題されやすいものも調べましょう。

また、全ての授業を大切にしてください。学校行事、部活動、委員会活動、家族と過ごす時間、家と学校との往復の時間などを通して皆さんは様々な経験をしています。これらの経験も小論文を書くとき参考になるはずです。